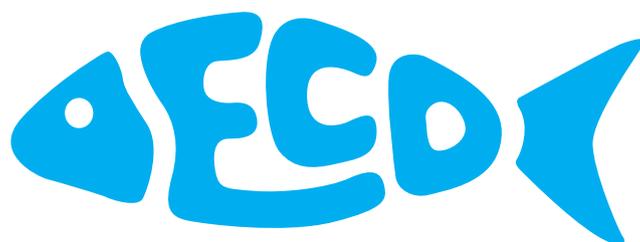


つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2018

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

Japan Fishing Show 2019 in YOKOHAMA

2019年のジャパンフィッシングショーでは、釣り界全体で取り組むLOVE BLUE事業を広く一般にご紹介するため、(一社)日本釣用品工業会 島野容三 会長並びに(公財)日本釣振興会 高宮俊諦 会長をはじめご来賓の皆様や未来を担う子供たちと共に、放流式典を実施致しました。



にて放流式典を開催



ショーの会場である神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に隣接する臨港パーク及び、本牧海づり施設に、合計 5,000 尾のカサゴを放流しました。



(一社) 日本釣用品工業会 2018年度事業報告

- ・ LOVE BLUE TOPICS
- ・ 水中清掃
- ・ 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- ・ 専門機関と連携した放流
- ・ 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)

政府主催「海の日行事“海と日本プロジェクト”」 総合開会式に正式招待



社会貢献事業として進める LOVE BLUE 事業として、「海の日」を記念する行事「海と日本プロジェクト」の式典・祝賀会へ、当工業会が招待を頂きました。

主催者である内閣府総合海洋政策本部や国土交通省、(公財)日本財団からの挨拶があり、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長らが出席。国土交通省海事行政関係者や政府関係者の皆様へ、今後の関係性の深化を図る為、本事業の事業報告を行って参りました。

左から 内閣府総合海洋政策推進事務局 羽生一郎局長 (当時)、国土交通省海事局 蒲生篤実局長 (当時)、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、国土交通省 大臣官房技術審議官 (当時)。



大井川和彦 茨城県知事 表敬訪問

2013年度より継続する霞ヶ浦や涸沼を始めとした県下での水中クリーンアップ活動や内水面釣場拡大（ワカサギ）での霞ヶ浦漁業協同組合の採択、第17回世界湖沼会議（霞ヶ浦）における連携等について報告及び御礼の訪問。知事からは「環境保全への取り組み、素晴らしいです。茨城県の為に、本当にありがとうございます！」とお礼の言葉を賜りました。



左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問。

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018：10/15～10/19）の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議でのLOVE BLUE事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内でのLOVE BLUE事業の推進をお伝えするため、（一社）日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦 茨城県知事 表敬訪問

出席：島野容三 会長 / 大村一仁 副会長 /
加藤誠司 副会長 / 小島忠雄 顧問 / 柿沼清英 理事
2018年9月28日(金) 茨城県庁



島野容三 会長から「お陰様で、2013年の事業開始から今年度まで、釣り人や釣用品メーカー等のご協力を得て、自主財源で取り組む、LOVE BLUE 事業は、茨城県下でも、計53日間、全国では700日以上の中水クリーンアップ活動を実施させて頂き、その間、清掃活動の場を頂いた茨城町の潤沼は、ラムサール条約登録湿地となり、また、各地の漁業者の方や、各自治体の市長からも、感謝の声をお寄せいただけるようになりました」との御礼とご報告があり、この他に、大村一仁 副会長、加藤誠司 副会長、小島忠雄 顧問からも、第17回世界湖沼会議への御礼や、水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）に関するご報告などもありました。

これを受け、大井川和彦 知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアッ

プ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です！引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。

また、表敬訪問の前後で、茨城県農林水産部漁政課、同部水産振興課、並びに、茨城県県民生活環境部環境対策課へも御礼のご挨拶に伺い、各課長より LOVE BLUE 事業への御礼のお言葉をいただきました！



LOVE BLUE 事業

水中クリーンアップ活動

「第17回世界湖沼会議 いばらき霞ヶ浦2018」との連携

事業開始より6年間、茨城県下で、県・市町村から要望をいただきながら、水中クリーンアップ活動を実施、ラムサール条約登録湿地となった涸沼（ひぬま）へも登録前から同活動を地元関係団体と連携しながら実施してきたことを背景に、「霞ヶ浦はもとより日本の湖沼環境保護へ取り組む団体として存在感を示す。」

「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦 2018」において、水辺の環境保全活動として、LOVE BLUE 事業を発表させていただく機会を賜り、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が講演致しました。



小島忠雄 LOVE BLUE 委員長「茨城県下では、県や市町村、団体、漁業関係者等と連携しながら、霞ヶ浦や北浦、涸沼、牛久沼等で、6箇年累計 / 8市町村 / 20箇所 / 54日間の水中クリーンアップ活動を実施してまいりました。ご関係の皆様には、私達に活躍の場を与えていただき、大変感謝しております」とのご報告を、ご来場の皆様へいただきました。

第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018) への参画

2018年10月15日(月)～10月19日(金) 会場：つくば国際会議場他



世界湖沼会議の会期中、茨城県土浦市の土浦港において、世界中から集まった環境活動へ取り組む研究者の皆様、LOVE BLUE 水中クリーンアップ活動をご覧いただきました。



1) 2018年10月13日(土)

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら霞ヶ浦の水質浄化に取り組む関係団体の活動発表 LOVE BLUE 事業の活動報告 (10分間) や世界湖沼会議の記念誌へ活動報告内容を掲載。

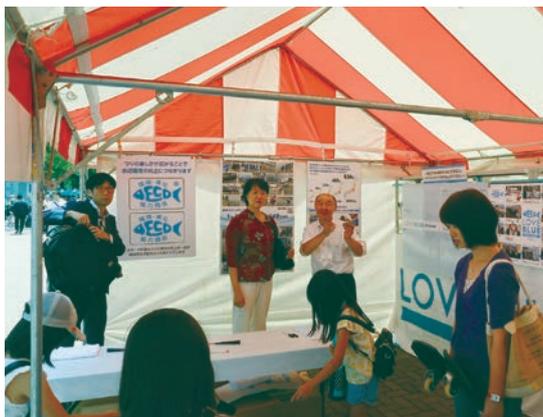
2) 2018年10月17日(水)

第17回世界湖沼会議 エクスカーション
世界湖沼会議参加者の視察地である「湖水直接浄化施設 (土浦市土浦港)」で水中クリーンアップ活動を実施させていただき、LOVE BLUE 事業を広く紹介した。

環境省主催 エコライフ・フェアに出展

LOVE BLUE 事業は、毎年環境の日（6月5日）の近辺の土曜日及び日曜日に東京都渋谷区の代々木公園にて、環境省が主催する、エコライフ・フェアに2015年から毎年出展しています。環境への関心の高い来場者や、環境保全に取り組む企業や団体の皆様へ水辺の環境保全を志向する LOVE BLUE 事業が取り組む、社会貢献活動のPRを行い、また関係を構築しています。

本年度は、「つりの楽しさが広がることで水辺環境の向上につながります」をテーマに、これまでの社会貢献活動としての実績をPRしました。



渡嘉敷環境副大臣に LOVE BLUE 事業の説明を行いました。(2018年)



丸川環境大臣（当時）に環境への取り組みのメッセージを残して頂きました。(2016年) / 中央：丸川珠代 環境大臣（当時） 左：大村一仁 当工業会 副会長 右：小島忠雄 当工業会 顧問

木田久主一 鳥羽市長を 島野容三会長が表敬訪問

2016年5月19日(木)10:00～ 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7 伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

G7 伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長（以下会長）：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。

あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7 伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができまして、我々といたしましては、これまで LOVE BLUE 事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにしていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



鳥羽市 木田久主一市長と



環境省表敬訪問

LOVE BLUE事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017年1月20日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。



中央：小林正明環境事務次官、左から松下和夫京都大学名誉教授、大村一仁副会長、島野容三会長、小島忠雄顧問

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今ではLOVE BLUE事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年（2016年）のG7伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。

環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開するLOVE BLUE事業は、2015年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第1号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行うNPO・NGO等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015年度は、全国8団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である6月5日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして6月10日（水）、LOVE BLUE委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長（当時）より授与されました。



環境省総合環境政策局 小林正明 局長（当時）と

全国に広がる感謝の輪

～水中クリーンアップ活動編～

私達、釣り人は、世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取り組みが、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUE では、全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフと常時無線交信設備を装備しながら、万全の安全管理を徹底しながら作業しています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請や周知等、地域のご関係先としっかりと連携しながら進捗し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、2013年度の事業開始より2018年度に至るまで、6年間累計32道府県195箇所766日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<中部・北陸地方：20日>			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3										
		入鹿池	1	3										
	富山県	六波寺海岸			1	5	1	5	1	5	1	3		
		黒部漁港			1	4	1	3	1	3				
	石川県	名舟漁港			1	3.5	1	3						
		富来漁港			1	5	1	3	1	3				
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5	1	5
	福井県	前波漁港					1	3	1	3				
		東尋坊・崎漁港									1	5	1	5
	岐阜県	長良川									1	4		
東大江山												1	3	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5								
		土庄港					1	3						
	徳島県	要望箇所												
		那佐港			1	3								
	愛媛県	由岐漁港					1	3	1	3				
		日和佐港									1	3		
		椿泊漁港											1	4
	鳥取県	佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3				
		三机港			1	5	1	3	1	3	1	3		
	岡山県	松山港(高浜地区)			1	5	1	3	1	3	1	2		
九丁漁港												1	4	
高知県	境港								1	5				
	宇佐漁港										1	3	1	3
岡山県	牛窓港										1	3	1	3
	牛窓港										1	3	1	3

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3						
		伊万里港			1	5			1	3	1	3		
	長崎県	館浦漁港			1	5	1	3						
		薄香湾漁港					1	2						
	熊本県	生月漁港							1	3	1	3		
		長崎港											1	4
	沖縄県	八代港			1	5	1	3						
		名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3
	大分県	別府港								1	5			
		吹浦漁港									1	3	1	3
鹿児島県	山川漁港							1	5					
	枕崎漁港									1	3	1	4	

● **沖縄県**
 ・名護漁港
 (6月2日～4日)

● **石川県**
 ・安宅漁港
 (5月8日～12日)

● **滋賀県**
 ・長命寺港
 (10月19日～21日)
 ・海津漁港
 (10月24日～28日)
 ・膳所港
 (10月30日～11月3日)
 ・知内漁港
 (11月6日～9日)
 ・沖島漁港
 (11月11日～13日)
 ・瀬田舟溜
 (11月14日～15日)

● **福井県**
 ・崎漁港
 (5月15日～19日)

● **富山県**
 ・黒部漁港
 (6月12日～16日)

● **岡山県**
 ・牛窓港
 (9月18日～20日)

● **和歌山県**
 ・戸坂漁港
 (9月29日～10月3日)

● **愛媛県**
 ・九丁漁港
 (9月7日～10日)

● **京都府**
 ・宮津港
 (5月22日～26日)

● **高知県**
 ・宇佐漁港
 (9月13日～15日)

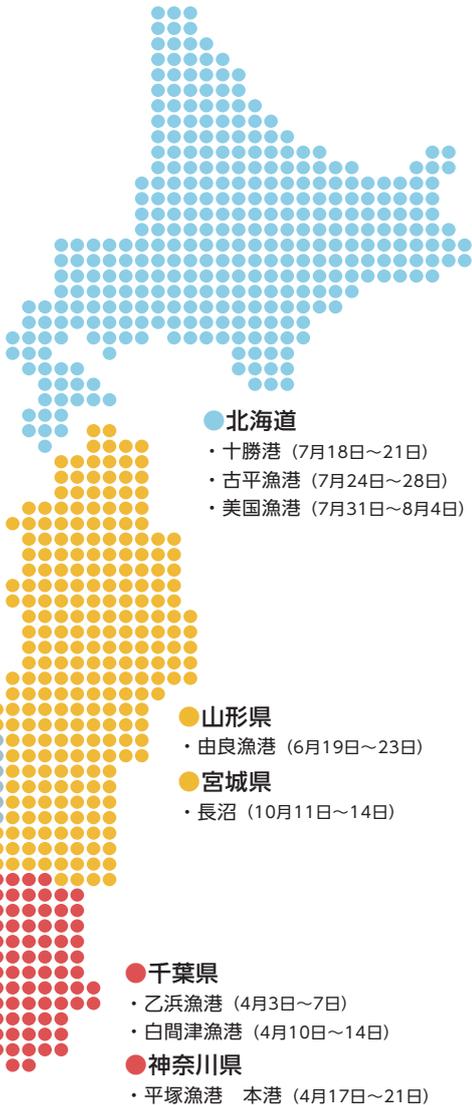
● **徳島県**
 ・椿泊漁港
 (9月23日～26日)

● **長崎県**
 ・長崎港
 (8月27日～30日)

● **大分県**
 ・吹浦漁港
 (9月2日～4日)

● **鹿児島県**
 ・枕崎漁港
 (8月21日～24日)

プロダイバー水中クリーンアップ 活動地域マップ



●北海道

- ・十勝港 (7月18日～21日)
- ・古平漁港 (7月24日～28日)
- ・美国漁港 (7月31日～8月4日)

●山形県

- ・由良漁港 (6月19日～23日)

●宮城県

- ・長沼 (10月11日～14日)

●千葉県

- ・乙浜漁港 (4月3日～7日)
- ・白間津漁港 (4月10日～14日)

●神奈川県

- ・平塚漁港 本港 (4月17日～21日)
- ・大磯港 (4月24日～28日)

●岐阜県

- ・東大江川 (10月6日～8日)

●茨城県

- ・牛久沼 (6月26日～30日)
- ・涸沼 (7月14日)
- ・霞ヶ浦 土浦港 (10月17日)
- ・稲敷市 小野川 (3月3日)

●栃木県

- ・東古屋湖 (7月3日～7日)

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<北海道:15日>			0	0	3	15	3	15	4	15	4	15	3	14
北海道	道央	小樽港			1	5	1	5						
		浜益漁港							1	3				
		濃尾漁港							1	2				
		厚田漁港			1	5	1	5	1	5		1	5	
		浜益地区 (幌漁港)									1	2		
		浜益地区 (群別漁港)									1	3		
	道東	古平漁港											1	5
	美国漁港												1	5
	道東十勝港北区			1	5	1	5	1	5	1	5	1	4	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<東北地方:10日>			0	0	7	24	4	14	3	15	3	10	2	9
東北	岩手県	岩洞湖			1	2								
	秋田県	能代港			1	5								
		米代川			1	1	1	1						
	山形県	酒田港			1	4.5	1	5						
		加茂港			1	3.5								
		鯉ヶ関港			1	4.5	1	3	1	5	1	4		
	宮城県	由良漁港											1	5
		仙台塩釜港			1	3.5	1	5	1	5				
	青森県	長沼									1	3	1	4
		三沢市 高瀬川放水路								1	5	1	3	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<関東地方:35日>			2	9	9	27	9	35	8	32	8	36	9	33	
関東	群馬県	榛名湖	1	5	1	5									
	栃木県	東古屋湖												1	5
		土浦市 (霞ヶ浦)	1	4	1	1									
	茨城県	美浦村 (霞ヶ浦)			1	4	1	3							
		阿見町 (霞ヶ浦)			1	3	1	5							
		かすみがうら市 (霞ヶ浦)					1	1							
		土浦市 (霞ヶ浦 大石田船溜)							1	1					
		茨城町 (涸沼)			1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	千葉県	土浦市土浦港 (霞ヶ浦)												1	1
		鹿嶋市 (北浦 額賀船溜)									1	5			
		龍ヶ崎市 (牛久沼)					1	4	1	5					
		牛久市 (牛久沼)									1	5	1	5	
		稲敷市 (霞ヶ浦)												1	1
	神奈川県	興津港			1	1									
		野島漁港			1	1									
		富浦漁港			1	5	1	5	1	5	1	5			
		乙浜漁港			1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	
		白間津漁港												1	5
	神奈川県	茅ヶ崎漁港					1	5	1	5					
		平塚漁港 本港					1	5	1	5	1	5	1	5	
片瀬漁港									1	5	1	5	1	5	
	大磯港									1	5	1	5		

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<近畿地方:35日>			1	5	7	31.5	7	35	7	33	10	37	8	32	
近畿	滋賀県	吉川港 (琵琶湖)	1	5											
		早崎漁港 (琵琶湖)			1	1.5									
		八木浜漁港 (琵琶湖)			1	2									
		南浜漁港 (琵琶湖)			1	5									
		朝妻港 (琵琶湖)			1	3									
		能登川漁港 (琵琶湖)			1	5									
		木浜漁港 (琵琶湖)			1	5						1	5		
		北山田漁港 (琵琶湖)					1	5				1	5		
		知内漁港 (琵琶湖)					1	5						1	4
		志那漁港 (琵琶湖)					1	5							
	堅田漁港 (琵琶湖)					1	5				1	5			
	長命寺漁港 (琵琶湖)					1	5						1	3	
	大溝漁港 (琵琶湖)					1	5								
	宇智川漁港 (琵琶湖)									1	5				
	出在家舟溜 (琵琶湖)									1	5				
	沖之島漁港 (琵琶湖)									1	5			1	3
	牧舟溜 (琵琶湖)									1	4				
	野村舟溜 (琵琶湖)									1	4				
	三重県	針江大川舟溜 新川舟溜 (琵琶湖)										2	3		
		瀬田舟溜									1	4			1
海津漁港														1	5
膳所港														1	5
鳥羽港				1	10	1	5	1	5						
京都府	熊野二木島港							1	5						
	尾鷲港										1	5			
和歌山県	宮津港										1	5	1	5	
	戸板漁港・シモツピアランド										2	5	1	5	

全国 **34** 箇所 **134** 日実施 (累計 **766** 日実施)

茨城県 涸沼

水中クリーンアップ活動は、地域の皆様と連携し、水辺の環境保全活動を推進してまいります。

2018年7月14日(土)、「平成30年度ひぬま流域クリーン作戦」と連携して、茨城町涸沼にて水中クリーンアップ活動を実施!



クリーンアップ
ひぬまネットワーク
谷萩八重子
会長

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県涸沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望を頂き、LOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。同ネットワーク・谷萩八重

子会長からは「私達では出来なかった水中の清掃を LOVE BLUE 事業が取り組んでいただけのおかげで、涸沼はラムサール条約登録湿地となれました。また、陸上清掃の参加者が水中クリーンアップ活動を実際に拝見することで、より水辺を大切にする気持ちが大きくなるんです。本当に感謝しています。これからもよろしく願います!」とお言葉をいただきました。また、同湖を所管する大涸沼漁業協同組合の坂本勉組合長からも「漁業者として、とてもありがたい取り組みに感謝します。漁業者はみんな喜んでいきますよ。ありがとうございます!」と感謝のお言葉をいただきました。



大涸沼漁業協同組合の皆様が、水中クリーンアップ活動をご視察いただきました。

茨城県 霞ヶ浦

2019年3月3日(土)、「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携して、稲敷市小野川にて水中クリーンアップ活動を実施!

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域24自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長である中川清 土浦市長からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます!」とお喜びの声をいただき、またイベントの開会式では小島忠雄 LOVE BLUE 委員長も来賓としてご招待いただく等、とても温

かくお迎えいただいています。イベントにご参加の皆様からも、水中クリーンアップ活動に高いご関心をお寄せいただき、「ダイバーの皆さん、頑張ってください!」と励ましのお言葉をいただきました。



中川清 霞ヶ浦問題協議会 会長(土浦市長・右)と談笑する、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長。



左から、中川清 土浦市長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、寛信太郎 稲敷市長、チャレンジいばらき県民運動 幡谷浩史 理事長



全国に広がる感謝の輪

～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～

LOVE BLUE 助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金とは

環境庁（現・環境省）が中心となって、民間団体（NGO・NPO）による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

1993年度から2018年度までに延べ5065件、総額167億円の助成を行うなど、NGO・NPO等が行う環境保全活動を積極的に支援しています。

地球環境基金企業協働プロジェクト・ LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。地球環境基金のビジョン・ミッションの範囲の中で、助成対象・分野・金額に独自性があり、先行などには、寄付者の「想い」が反映されます。

LOVE BLUE 助成は、(一社)日本釣用品工業会より寄付された資金によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

LOVE BLUE助成団体

2015年度	
香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さめき会
東京都	(一社) JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2016年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2018年度	
沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばる会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

ジャパンフィッシングショー 2019 in YOKOHAMA の活動報告会にて

NPO 法人 アンダンテ 21 LOVE BLUE 助成によって活動の幅が 広がり、ベースである人間関係が 広がりました。

齋藤遼さん：LOVE BLUE 助成では3年間、お世話になっておりまして、本当にありがとうございました！ 私達が活動を始めた当初は、正直なところ、周りの人達から「ゴミ拾いを好きな人がやってる」ぐらいに見られていたところがあります。しかし、事業を継続していくことで、一緒に活動していただける人が広がってきました。というのも、元々、私達は川の環境保全活動からスタートしています。水辺をキレイにするには、山から川、そして海と活動のステージを広げてきたのですが、これは LOVE BLUE 助成の支えられて勤められたことなんです。この活動が広げられたことはとても大きな成果の一つであるんですが、これによってご関係先である行政の各部署の方や、内水面、そして海面までの漁業者皆さん等、人と人とのつながりがとても広がっていったんです。これは私達の団体にとって何よりもの財産で、未来につながる事と感謝しています。これまで LOVE BLUE 助成とのお付き合いは今年度で一旦、終了となりますが、この3年間で実践出来た活動のデータは、間違いなく、とても大きく役立つ物になります。



アンダンテ 21 齋藤遼さん

引き続き、活動を継続していきますので、宜しくお願い致します。

神戸海さくら

LOVE BLUE 助成を受けて、ビーチの環境認証「ブルーフラッグ」を獲得しました！

理事長 森口智聡さん：私達が活動する兵庫県神戸市の須磨海岸は、長年、ビーチに残されるゴミ問題に悩まされてきました。まずは汚れたビーチをキレイにすることで、新たにゴミを捨てにくい環境を作り、継続してビーチクリーンが行えるよう、楽しみながらゴミ拾いが行えるプログラムを構築。その結果、ビーチの環境認証「ブルーフラッグ」を獲得出来ました。この継続的にビーチクリーンを行うための下支えをしてくれているのが LOVE BLUE 助成です。いつまでの美しい須磨海岸をキープ出来るよう、これからも活動を継続していきます。



理事長 森口智聡さん(左) 森口祐依さん(右)

ふくおか FUN

ダイバーとして海を守る活動を LOVE BLUE 助成に支えていただき、より大きく広がりました！

大神弘太郎代表理事：私達はダイバーが集まっ

て海を守る活動をしています。そして私達は、LOVE BLUE 助成に支えられたことで、活動の幅が大きく広がりました。何よりもステークホルダーの皆様感謝したいのは、子供たちを中心として行っている、もっと海を知ってもらう活動の幅が大きく広がったことです。釣り人の皆さんも良くご存知の通り、海の中には実に色々な生き物が生息しています。彼らを知ることで、海を大切に思う気持ち、水辺をキレイにする気持ちを育んでもらっています。LOVE BLUE 助成を通じて、活動の幅が広がったことで、人のつながりもとても大きくなりましたし、何より私達の団体のスタッフもスキルアップしています。これは本当にありがたいことなんです。釣り人とダイバーが力を合わせるとこんなことが出来るんだ、って可能性に、もっともっと挑戦していきます！



代表理事 大神弘太郎さん

NPO 法人 くすの木自然館

干潟から始まった水辺を守る活動は、LOVE BLUE 助成を通じて、海から川まで活動の場が大きく広がりました！

小野田剛 専門研究員：エコツアーや環境学習を通じて、鹿児島県錦江湾に広がる干潟を中心とした活動を展開しています。これまでは、干潟を通じた海が活動の場となっていました。LOVE BLUE 助成によって活動の幅を広げることが出来、海から川までが私達の活動の場となりました！ これによってより充実した環境学習やエ

コツアーを行うことが出来るようになり、ご参加される皆さんと地域作りに取り組んでいきたいと思っております！



専門研究員 小野田剛さん

次世代のためにがんばる会

熊本県八代を舞台に、次世代の子供たちが健康で安全な生活が送れるように願いを込めて活動しています！

松浦ゆかりさん：九州を代表する清流・球磨川が海へと流れ込む八代を舞台に、浜辺や河川の環境保全活動や子どもゴミパトロール、カキ殻による河川浄化、環境学習会等を行っています。私達の活動の特徴としては、「学・官・民のトライアングル」で成り立っているんです。その為、運営が充実したものとなっています。とはいえ、活動を継続していく為には、何かと費用も増えていくのですが、LOVE BLUE 助成のおかげで、よりしっかりとした運営が出来るようになりました。こうした地域の活動を継続していけるの



代表 松浦ゆかりさん

も、本事業のおかげと大変感謝しております。また、私達の団体は国土交通省の河川協力団体に指定されているのですが、その表彰式の席で、同じく LOVE BLUE 助成を受けている「荒川クリーンエイド」さんとご一緒しまして、「同じ LOVE BLUE 助成を受けてますね！」って（笑）。こういった、異なる地域で同様の活動をする皆さんとご縁をいただけたことも、LOVE BLUE 助成のおかげなんです。この度は本当に、ありがとうございました！

全国川ごみネットワーク

川は誰もが癒される憩の場。その川の状態を知ることで日常生活から見直すきっかけが生まれます！

伊藤浩子さん:川って、とてもものんびりしていて、誰もが癒される場所なんですよね。でも良く見てみると、残念ながら様々なゴミが落ちていて、長年活動していても中々減らない現状もあります。私達も活動を通じてとても強く感じることは、「川は気付きの場所」ということ。川のゴミだけでなく、川へゴミが至る前、町の中や普段の生活から考えていかないといけない。そういう「気付きの場所」でもあるんです。LOVE BLUE 助成を通じて、活動の幅が広がったことはとても感謝していますし、他の団体の皆さんともつながることが出来ました。こういった縁をいただけたことは、本当にありがたいです！



伊藤浩子さん（右）

グリーンパートナーおかやま 釣り人の皆様が私達の活動を 支えてくれていると実感しています！

藤原瑠美子さん: LOVE BLUE 助成をいただき、ジャパンフィッシングショーで活動報告をさせていただいて、会場で応援してもらったり声を掛けてもらえたり、非常に温かいご支援をいただいています。ご支援いただいている皆さんと直接触れ合える機会には他にありません。釣りをされる皆さんにとって海ゴミは非常に関心の高いものだと思っています。LOVE BLUE 助成は、非常に多くの皆さんに喜ばれていると思います。多くの自治体や団体とつながりが持つことが出来、スムーズで深い活動、そして多くの事業を行うことが出来るようになりました。今後は、さらに県内の市町村等の担当者とさらに深く進めていきたい。ゴミに関する課題は、みんなの課題。未来に希望・夢を持っていく。このような思いを皆さんに共有してもらい活動を飛躍させていきたいと思っています。



伊藤浩子さん（右）

島根県

NPO

アンダンテ 21

協働と次世代育成をめざした
益田市水環境保全プロジェクト

島根県益田市の海岸線を舞台に、協働と次世代育成をめざした水環境保全活動を実施しています。清掃活動と自然・環境教育を統一させた野外イベントを学校や地元組織とともに開催、さらに小学校等での環境教育や教員への研修会等を行いながら、地域の水環境保全のプレイヤーとなる次世代の育成に取り組んでいます。



当法人は益田市を流れる「高津川」を中心とした水環境保全とまちづくり活動を行ってまいりましたが、LOVE BLUE 助成のおかげでその活動範囲を海を含む多くのエリアに拡大することが



理事長 渡邊 勝美さん

ができました。また、資金源の問題があった小学校等での環境教育にも積極的に取り組むことができるようになり、当地の環境保全を担うひとづくりが進んでいます。

鹿児島県

NPO

くすの木自然館

鹿児島湾奥地域における
湿地帯保全活動

私たちは、住民への生活環境に対する啓発の一環として、地域住民および行政と協働で、各4回の清掃活動及び活動後の啓発講座を実施します。清掃活動でゴミの量がどのように変化するかを調べるとともに、環境指標として生物調査を毎月行い、生物相の変化をモニタリングしています。また、その結果をフィードバックすると共に、適切な不法投棄対策を実施することを目的に、年2回の懇話会を実施します。



これまではあまり行政の手が届き辛かったエリアの清掃活動を、幅広い利害関係者（ステークホルダー）を巻き込んで行っていることで、湾奥湿地の保全活動に繋がられています。



専門研究員 小野田 剛さん

また、以前はあまり行えていなかった、春季の生物調査ができたことで、鹿児島湾奥の湿地帯の生物相を、より詳細に把握することができています。

岡山県

NPO

グリーンパートナー
おかやま海ごみから流域環境を考える
プロジェクト

海ごみやマイクロプラスチックの問題を啓発するために、『世界の宝石～瀬戸内海』を磨くシンポジウムを開催しました。

また、底引き網漁船でゴミを引き揚げ「見える化」しワークショップで考える体験学習「海底探検隊 2018」や川ごみ調査「川ごみ探偵団」、河川敷の「クリーンアップ大作戦」を行いました。



LOVE BLUE 助成をいただいたことによって、シンポジウム・底曳網体験学習など「山～川～海」をつなぐ一連の啓発事業を行うことが出来ました。このため多くの皆様に「海ごみ問題」「マ

イクロプラスチック問題」を身近なこととして実感していただきました。助成を通じて支えてくださった全国の釣り愛好家の皆様、釣り用品関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



理事長 藤原 瑠美子さん

山形県

NPO

公益のふるさと創り
鶴岡

鶴岡市内川流域の繁茂した藻刈りを市民参加型で実施する体制構築プロジェクト

鶴岡市内を流れる内川にて、夏の間繁茂する藻を刈る作業と川底に滞積するゴミの清掃活動を行うボランティア活動を行いました。また、子どもたち向けの魚類調査や舟下りなどの啓蒙活動も行い、市民参加型で内川の環境保全活動を促進しました。



内川の藻刈りは専門にやっていたおじいさんが一人で行っていましたが、5年前にお亡くなりになりました。その後、当団体が支援

しながら細々として行ってきましたが、この LOVE BLUE 助成を受けることによって市民活動プロジェクトを立ち上げ、内川の環境保全活動の底上げが可能となりました。



代表理事 風間 富士子さん

兵庫県

NPO

神戸海さくら

須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型
清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

私たちは、都市部にある数少ない自然海岸である須磨海岸の環境保全と海岸利用者のマナー意識向上を目的として、ビーチクリーン活動やゴミステーションの設置、環境セミナーの開催等を行っています。ゴミのポイ捨て防止を呼び掛け、海岸を利用する全ての人々が環境保全に向け協力できる参加型の社会を目指す仕組み作りに取り組みました。



私たちボランティアがゴミステーションの管理やゴミの分別収集を呼び掛ける役割を担うことで、行政と協力して須磨海岸でのゴミ箱設置が実現しました。また、



理事長 森口 智聡さん

水族園園長による環境セミナーの開催や、ライフセーバーと小学生とで行う合同ビーチクリーン活動など環境学習にも取り組むことができました。

熊本県

次世代のためにがんばる会

八代海河川・浜辺の大そうじ大会と
干潟保全に向けた青少年ワークショップ

八代海、球磨川の環境保全及びラムサール条約登録に向けた活動を展開。そのための学習教材の作成。多くの活動は市内の高校・高専(計9校)にも参加を呼びかけ、特に八代海河川・浜辺の大そうじ大会については、官学民産協働により約450名が参加。来春年頭には大そうじ大会に参加された学生を対象に青少年ワークショップを開催。



熊本県の八代海と球磨川の環境保護、高校生を中心とした青少年の環境学習(意識改革)を目的に始めた「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」が官・民・学・産の行動体制で14年間続いてい



代表 松浦 ゆかりさん

ます。回収したごみの種類等から誰が捨てたのかを調査する「子どもごみパトロール隊」など、子供の目線で考え、「ごみを捨てることでごみを捨てない人づくり」が進んでいます。

東京都

全国川ごみネットワーク

水辺のごみ削減学習プログラムの構築と実践

小学校で5、6年生の環境学習の授業として水辺のごみ削減に取り組みました。事前授業でごみによる影響を学び、実際に湖での清掃活動を行いました。事後授業では、ごみを減らすためにできることを考え、子どもたちがイベントに参加し発表しました。先生向けの研修会も開催し、継続できるよう取り組んでいます。



子どもたちが、諏訪湖のごみの元は、生活から出ているものが多いことに気づき、保護者と一緒にごみを減らすために自分たちができることを考えることがで



座長 亀山 久雄さん

きました。水辺のごみ拾いを行うことで、ごみの発生源を考え、水辺のごみを減らすためにできることを学べる場とすることができました。

沖縄県

NPO

美ら海振興会

慶良間諸島チービシエリアのサンゴ礁再生環境づくりプロジェクト

美ら海振興会は、沖縄の海が本来の姿を取り戻すために、今年度は主に水中のタイヤ等を回収する「水中清掃」や「水中駆除」として、サンゴを捕食するオニヒトデやレイシガイダマシ類等の駆除を行っています。また、救命講習や環境教育をダイビング事業者や修学旅行生、大学生に実施しています。



危険を伴う水中での作業を経験と技術を持ったダイバーが行い、サンゴを捕食する生き物をたくさん駆除することができました。また、その結果をホームページ



会長 松井 さとしさん

等で報告することにより、ダイバーでない方や、遠方に住んでいる方にも沖縄の海について知ってもらうことができたと思います。

石川県

NPO

能登半島
おらっちゃんの里山里海

能登の“里海”文化の継承と保全

私たちは活動のテーマに、里海を「知る」、里海を「守る」、里海を「楽しむ」の3つをあげています。「知る」活動では、海岸清掃活動でのモニタリング調査やお魚ワークショップ、「守る」活動では、里海クリーンビーチと里山森づくり運動、「楽しむ」活動では、渚遊びや釣り大会などを実施しています。



多くの市民や子供たちに“里海”と関わることの重要性とその魅力を伝えることができました。とくに校区内に海がない小学校も含めた海岸清掃活動では、小学校との連携を強めるこ



理事長 加藤 秀夫さん

とことができました。里山の森づくり運動には100名が参加し、釣り大会も回を重ねるごとに参加親子が増え、私たちの活動は少しずつ市民権を得ているように感じます。

福岡県

(一社) ふくおか FUN

福岡の海における生物多様性
および水中環境保全のための活動

スキューバダイバーが中心となり、子供向けスノーケリング体験や、海をきれいにする海草「アマモ」の水中観察・植付けのほか、県内各地での授業や写真・映像展を実施し、水中の生物多様性や海底ごみ問題について幅広い世代に伝えることで、福岡に住む人々の持続的かつ自発的な行動に繋げました。



体験型のイベントや写真展の開催により、都市部の海への市民の多様な関わり方を生み出すことができ、参加者の水中環境への意識が向上しました。また、博



代表理事 大神 弘太郎さん

多湾を中心とする福岡の海での活動実績が評価され、これまで以上に行政や企業、漁業者、他NPO等と連携した事業が生まれました。

山 梨 県

NPO

未来の荒川をつくる会

名勝・昇仙峡から甲府市を縦貫する
荒川とその支流の河川清掃

毎月第1日曜日の早朝約2時間、荒川と支流合計11か所で河川清掃を実施。参加者は毎回平均100人強で、2トン車2～4台分のごみ等を回収し、土手や河川敷の雑草除去も並行して行ないました。



胴長靴等清掃用具が充実したほか、傷害保険に加入するなど活動環境を整備することができました。活動は高い評価を得ており、やまなし環境財



会長 飯野 正久さん

団から助成金を支給されているほか、首都圏山梨県人会から表彰もされています。

長 崎 県

やったろう de 高島

珊瑚ツーリズムの創造

海浜、海中の清掃活動：地域小中学生、教職員、父兄と実施。

啓蒙活動：小学生対象ツアー、大学生、留学生、修学旅行生を対象に実施。

珊瑚復元活動：専門家を招聘し生息するイシサンゴ類の特定を行ないました。

また活動指針となる研修会を実施しました。



地域の漁協と連携を構築していく過程で「LOVE BLUE 助成」を受けている事が、当団体の信頼度向上につながりました。



事務局長 小村 秀蔵さん

啓蒙活動および環境出前講座等で講演する際に、海に特化した環境保全活動との理解を得るのが容易となりました。

専門機関と連携した放流 ～放流事業の全国展開へ～

第4回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



釣り人の皆様からの浄財を適正に事業推進する枠組み
専門機関と連携した放流事業の全国展開
～（公財）神奈川県栽培漁業協会との放流実績から～

栽培漁業協会中央団体
公益社団法人 全国豊かな海づくり協会
(旧) 全国栽培漁業協会

第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議
平成29年度栽培漁業推進全国会議

都道府県水産担当者
(栽培漁業)
『栽培基本計画策定』

都道府県 栽培漁業協会
『種苗生産施設』

各地での栽培魚種の中から、釣り人に喜ばれる魚種の放流

教育機関との連携

2018年10月4日（木）に実施された山形県鶴岡市でのクロダイ放流事業をお手伝いいただいたことをご縁に、鶴岡市三瀬保育園（さんぜほいくえん）の「平成30年度クリスマス発表会」にて、年中組の園児の皆さんがクロダイ放流体験を題材とした劇「LOVE BLUE ～クロダイのこども達の冒険」を実施していただきました。



山形県鶴岡市 三瀬保育園・平成30年度クリスマス発表会劇「LOVE BLUE ～クロダイのこども達の冒険」



専門機関と連携した放流

LOVEBLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、今年度から各地の専門機関との連携へと広がっています。

青森県 ヒラメ16.4万尾



山形県 クロダイ1.5万尾



2018年度 4県3魚種38.8万尾

累計 6年間 9ヶ所 138.8万尾

神奈川県 マダイ10万尾



鹿児島県 マダイ10.9万尾



水産庁後援

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大(ワカサギ)は、2018 年度は7団体を採択～

水産庁ご後援の元、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂きながら、2017 年度は群馬県高崎市の鳴沢湖や長野県松本市の美鈴湖等でスタート。2 年度目の 2018 年度からは全国 7 団体へと展開しました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等と連携しながら推進していきます。

2018 年度に物納支援を行った団体からは、すでに地場産ワカサギ親魚の採捕や、それによる他水域へのワカサギ受精卵の販売・供給等が実施され、順調な滑り出しを見せています。これによって、ワカサギ釣り場の安定化や、新たなワカサギ釣り場創設といった地域のニーズに対し、国や研究機関、漁業者団体等が周知広報し、そして釣り界が支援する、という形となります。

水産庁後援名義使用許諾 文書



ワカサギに学ぶ会



「第 23 回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業をご説明する機会をいただきました。

7団体

2017 年度

- 001：群馬県 鳴沢湖
- 002：長野県 美鈴湖 / 小花見池

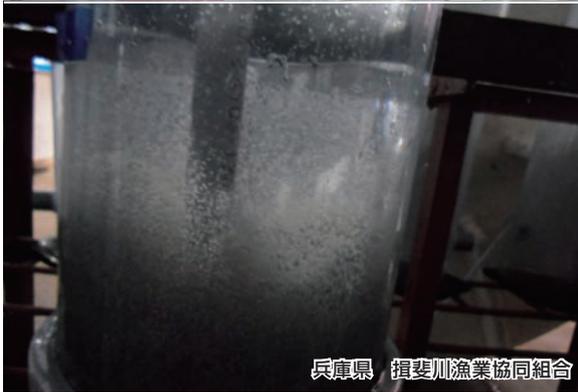
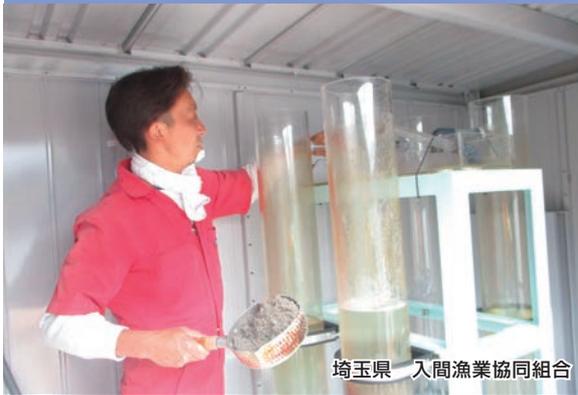
2018 年度

- 003：埼玉県 名栗湖
- 004：千葉県 高滝湖
- 005：兵庫県 音水湖
- 006：茨城県 霞ヶ浦
- 007：群馬県 梅田湖
- 008：島根県 尾原ダム湖
- 009：山梨県 河口湖

水産庁後援事業 内水面釣り場拡大（ワカサギ）

LOVE BLUE 事業では、誰でも手軽に楽しめて美味しく食べられるワカサギの釣り場を各地へ増やす為、水産庁後援事業として、各地の専門機関や漁業協同組合等と連携し、ワカサギ増殖施設を寄贈しています。

2018年度 採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設



2018年度 採択団体

- ・ 埼玉県／入間漁業協同組
- ・ 兵庫県／揖斐川漁業協同組合
- ・ 千葉県／養老川漁業協同組合
- ・ 茨城県／霞ヶ浦漁業協同組合
- ・ 群馬県／両毛漁業協同組合
- ・ 山梨県／河口湖漁業協同組合
- ・ 兵庫県／さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会

ワカサギ資料

**霞ヶ浦漁業協同組合
ワカサギ増殖施設 進捗**



施設納入日：2018年12月5日

試験採卵状況：2019年1月12日～1月19日

- ・ 試験採卵5回の計50kgの親魚から約2860g/約363万粒確保
- ・ 水槽1基で親魚約10kg約72万粒の受精卵を生産可能と確認
- ・ 受精卵の採卵率（受精成功率）は約90%と高品質と確認
- ・ 受精卵の一部約240万粒をふ化器に投入し稼働開始
- ・ 受精卵を牛久沼漁協へ販売
- ・ 生残ワカサギを展示用に「お

2019.03.04

2 ソーラー（太陽光）の作成



内水面釣り場拡大（ワカサギ）



2019.03.04

ソーラーワカサギふ化装置の作成



水産庁後援事業 内水面釣り場拡大（ワカサギ）では、研究施設と連携し、技術指導等の知見を得ながら、その水域により効果的なワカサギ増殖施設を物納支援しています。2017年度には、長野県水産試験場が開発した、ソーラー発電方式の「可搬型人工ふ化器」に必要な資機材を寄贈させていただき、電源が無い場所等でも稼働出来るシステムとして、ご関係の皆様より高い注目を集めています。

II



(公財) 日本釣振興会

- ・ 水中清掃
- ・ 放流事業
- ・ マナー看板設置事業
- ・ 産卵床 魚道設置

水中清掃事業



2018 年は台風、水害等自然災害が多く、4 回の水中清掃が中止となりましたが、合計 32 回の水中清掃を実施することができました。32 回の水中清掃にはボランティアダイバー 455 名、陸上手伝い 423 名に参加して頂き合計 9,085 キロのゴミを回収いたしました。

1 回当たり回収されたゴミの平均重量は 284 キロで、昨年平均 273 キロより少し増えましたが、毎年清掃をしている場所では確実にゴミは減ってきています。

日本釣振興会で実施している水中清掃は 2018 年で累計実施回数 500 回となりました。

2018 年の 32 回の清掃の中で、つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業からの受託事業としての水中清掃は 23 回でした。

毎年多くの方の協力を得て実施している水中清掃ですが、2018 年も海をつくる会、(一社)ブルーエコ協議会、(一社)日本レジャーダイビング協会はじめ、多くの学校、NPO 法人、団体、ダイビング関係者、釣り関係者、地元漁業協同組合の皆さんにお手伝いいただきました。

2018 年もたくさんの方に協力いただきました





2018年4月15日 静岡県安良里漁港 参加人数 19名



大雨の影響で川から大量の流水があり、水面は透明度ゼロ。海底では透明度1.5m程あったので作業ができた。工事関係のパイプ等450キロを回収。

2018年5月12日 大阪府淡輪漁港 参加人数 25名



シーズンには多くの釣人で賑わう場所だが、当日はシーズン前のため釣り人は少なかった。初めて清掃する場所だが、釣具を含め全体的にゴミは少なかった。

2018年5月12日

神奈川県真名瀬漁港

参加人数 22名



強風のため湾外の清掃を中止し、湾内の清掃に変更したが予想以上のゴミが回収されました。

2018年5月23日

兵庫県播磨町新島

参加人数 22名



岸壁脇に釣り人が捨てたと思われる缶やペットボトルが散乱していたので、陸上班で清掃を行った。水中ゴミは釣具は少なく、一般ゴミが大半であった。

2018年6月9日

和歌山県内之浦湾

参加人数 26名



内之浦湾内で毎年場所を変えて清掃をしていますが、全体的にゴミは減ってきている。

2018年6月23日

長野県木崎湖

参加人数 21名



ワカサギやブラックバスの釣り場で、少数のルアー、エギ、ワーム等が揚がった。他にはパイプ類が多く回収されました。

2018年7月1日

静岡県熱海港海釣り施設

参加人数 28名



海釣り施設は2017年の台風で大きな被害を受けました。今回台風被害以後初めての清掃となり、流されたゴミのコンテナ等650キロものゴミが回収されました。

2018年7月1日 愛知県新舞子マリンパーク 参加人数 32名



海釣り施設のため一般ゴミはなく、切れた仕掛けやライン、サオ掛け等が回収されました。

2018年7月21日 山梨県山中湖 参加人数 34名



釣具は少なくタイヤや鉄パイプ等が回収されました。山中湖はすでに15回以上清掃しており、全体的にゴミは少なくなっています。

2018年7月22日 山梨県河口湖 参加人数 32名



多数のワームとともに、120個のゴルフボールも回収されました。河口湖ではワームの使用は禁止されていますが、いまだに古いワームが回収されています。

2018年8月18日 兵庫県垂水漁港 参加人数 34名



この場所は5年前に清掃を行った場所だが、今回も大量の一般ゴミが揚がりました。

2018年9月1日 福島県桧原湖1日目 参加人数 24名



タイヤ85本、ドラム缶片38個。釣具はルアー、ワームが少数。

2018年9月2日 福島県桧原湖 2 日目 参加人数 37名



桧原湖 2 日目は違う場所の清掃を行いました。この場所もタイヤが回収されましたが、一般ゴミはほとんどありませんでした。

2018年9月1日 京都府竜宮浜漁港 1 日目 参加人数 34名



昨年秋の台風と、7月の西日本豪雨の影響でいつもよりゴミは多かった。特に船外機、車止め、タイヤ等が揚がりゴミの重量は500キロになりました。

2018年9月2日 京都府竜宮浜漁港 2 日目 参加人数 34名



釣具、タイヤ、一般ゴミ等 270 キロになりました。

2018年9月8日 静岡県下田港犬走り防波堤 参加人数 33名



釣り人が絶えない釣り場のため多くの釣具が揚がりましたが、一般ゴミは少なく重量は80キロでした。

2018年9月9日 静岡県下田港福浦防波堤 参加人数 33名



この防波堤も有名な釣り場のため、防波堤から落水した釣り竿、リール、サオ掛け、椅子等回収されましたが、大きなゴミはなく重量は50キロでした。

2018年9月15日 静岡県焼津港親水広場ふいしゅーな 参加人数 32名



ここも釣り人が絶えない釣り場で、落水したサオ、サオ掛け等多くの釣具が揚がりました。

2018年9月26日 千葉県浜行川漁港 参加人数 16名



オモリが多く落ちていましたが透明度が悪く、またヘドロもありあまり回収できませんでした。

2018年9月26日 三重県吉津漁港 参加人数 33名



漁網のほかタイヤ、自転車、一般ゴミが多く重量は680キロになりました。

2018年9月27日 神奈川県小田原漁港 参加人数 17名



海底に投棄された漁網やロープにエギが絡まり、エギが1,700個揚がりました。他にもテンビンオモリ、コマセカゴ、メタルジグ等大量の釣具が回収されました。

2018年10月6日 神奈川県湘南港 参加人数 56名



この場所も有名な釣り場で、今年もオモリ、エギ、コマセカゴ、タコテンヤ等多数の釣具が回収されました。

2018年11月17日

大阪府深日漁港

参加人数 31名



潮の流れで外海に流されてしまっているのか、ゴミは少なかった。

回数	実施日	実施場所		参加人数		
		県名	場所名	ダイバー	陸上・船	合計
1	4月15日	静岡県	安良里漁港	12	7	19
2	5月12日	大阪府	淡輪漁港	6	25	31
3	5月12日	神奈川県	真名瀬漁港	14	8	22
4	5月23日	兵庫県	播磨町新島	11	11	22
5	6月9日	和歌山県	内之浦湾	11	15	26
6	6月23日	長野県	木崎湖	17	4	21
7	7月1日	静岡県	熱海港海釣り施設	19	9	28
8	7月1日	愛知県	新舞子マリンパーク	12	17	29
9	7月21日	山梨県	山中湖	15	12	27
10	7月22日	山梨県	河口湖	17	15	32
11	8月18日	兵庫県	垂水漁港	15	19	34
12	9月1日	福島県	松原湖1日目	16	8	24
13	9月1日	京都府	竜宮浜漁港1日目	22	12	34
14	9月2日	福島県	松原湖2日目	18	7	25
15	9月2日	京都府	竜宮浜漁港2日目	21	13	34
16	9月8日	静岡県	下田港犬走り防波堤	18	15	33
17	9月9日	静岡県	下田港福浦防波堤	18	15	33
18	9月15日	静岡県	焼津港親水広場ふいしゅーな	15	17	32
19	9月26日	千葉県	浜行川漁港	8	8	16
20	9月26日	三重県	吉津漁港	13	20	33
21	9月27日	神奈川県	小田原漁港	12	5	17
22	10月6日	神奈川県	湘南港	17	39	56
23	11月17日	大阪府	深日漁港	11	20	31
			合計	338	321	659

2府 10県 23回実施 659人参加

放流事業

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の資金を使用した放流は 2018 年で 4 年目となりました。

3 年目までは同じ魚を同じ場所に放流するよう依頼していましたが、2018 年は過去 3 年間とは違う場所で異なる魚種を放流した支部もありました。

放流は基本的に地元の小売店、釣り人に協力をしてもらっておりまして、LOVE BLUE 事業についての理解をして頂くいい機会になっていると思います。

岐阜県板取川

アマゴ



神奈川県新安浦港

メバル



奈良県室生ダム

ヘラブナ



千葉県いすみ市大原漁港

ヒラメ



愛媛県三津浜港

カサゴ



茨城県大洗マリーナ

クロダイ



福岡県門司大里港

マダイ



高知県佐賀港

カサゴ



佐賀県伊万里市久原海岸

カサゴ



佐賀県喜瀬川ダム

ヤマメ



埼玉県北本総合公園

ギンブナ



埼玉県川田谷沼

ヘラブナ



埼玉県鴻巣町明秋釜虎

ヘラブナ



三重県辛子川

アマゴ



山梨県笛吹川

アマゴ親魚



新潟県新潟東港

クロダイ



新潟県柏崎港

ヒラメ



滋賀県長浜港

ヘラブナ



栃木県

ヤマメ発眼卵



徳島県マリニピア洲徳島なっとく市岸壁

カサゴ



兵庫県尼崎市

マコガレイ



和歌山県浪早ビーチ

マダイ



和歌山県北港魚つり公園

マダイ



長崎県佐世保港

カサゴ



北海道石狩川水系比布川

ニジマス



静岡県伊東港

メバル



岐阜県長良川

アユ



石川県七尾市

クロダイ





愛知県落合池

ヘラブナ



香川県三本松港

カサゴ

4,397.8kg 727 万粒,
222,533 尾放流実施

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
北海道	石狩川水系比布川	7月29日	ニジマス	130kg
神奈川	荒崎なんやの浜	9月23日	クロダイ	5,000 尾
	横須賀市海辺つり公園・新安浦港	7月22日	メバル	5,000 尾
	多摩川宿河原地区	10月28日	ヘラブナ	300kg
山 梨	笛吹川水系	10月4日	アマゴ親魚	600 尾
埼 玉	名栗湖・浦山ダム・合角ダム・間瀬湖・油井ヶ島沼	4月~5月	ワカサギ 発眼卵	710 万粒
	北本総合公園	9月28日	ギンブナ	75kg
	川田谷沼	10月28日	ヘラブナ	230kg
	鴻巣市明秋釜虎	10月28日	ヘラブナ	350kg
東 京	加須市油井ヶ島沼	11月19日	ヘラブナ	115kg
	越谷市逆川	11月19日	ヘラブナ	115kg
	越谷市大吉調整池	11月19日	ヘラブナ	115kg
茨 城	水元公園	9月28日	ギンブナ	75kg
	小菅川最下流	11月15日	ヘラブナ	465kg
栃 木	大洗マリーナ	10月3日	クロダイ	3,100 尾
千 葉	木の俣川・篤川・武茂川・蛇尾川・秋山川・野上川・田川・鬼怒川・大谷川	11月14日	ヤマメ発眼 粒	164,800 粒
	いすみ市大原漁港	7月11日	ヒラメ	10,600 尾
静 岡	黒部川	11月10日	ヘラブナ	510kg
	伊東市伊東港	6月22日	メバル	7,600 尾
愛 知	落合池・東谷山フルーツパーク釣り池・ほら貝池・水広下池・まむし池	10月26日	ヘラブナ	648kg
三 重	国崎港沖	7月27日	ヒラメ	2,400 尾
	度会郡大紀町崎辛子川	6月25日	アマゴ	13,333 尾

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
岐 阜	長良川	5月15日	アユ	9,000 尾
	関市洞戸 板取川	平成31年 3月8日	アマゴ	600 尾
	板尾川	平成31年 3月8日	アマゴ	600 尾
	長良川支流片知川	平成31年 2月18日	アマゴ	600 尾
石 川	かくほ市・小松市・ 珠州市・七尾市	9月3日	クロダイ	40,000 尾
新 潟	新潟東港	8月24日	クロダイ	8,600 尾
	柏崎港	7月19日	ヒラメ	5,000 尾
和歌山	御坊市・由良町	8月21日	クロダイ	9,800 尾
	みなべ町小津浜・有田市初島・ 浪早ビーチ・北港魚釣公園	7月24日	マダイ	9,400 尾
京 都	舞鶴湾一帯	8月2日	クロダイ	13,000 尾
兵 庫	尼崎市・神戸市・ 加古川市	6月6日	マコガレイ	13,200 尾
滋 賀	青土ダム・日野川ダ ム・彦根港・長浜港	11月13日	ヘラブナ	900kg
奈 良	室生ダム	12月3日	ヘラブナ	300kg
香 川	三本松港	5月23日	カサゴ	10,000 尾
	須田港	6月27日	ヒラメ	3,500 尾
徳 島	マリニピア沖洲徳島 なっとく市岸壁	7月22日	カサゴ	8,000 尾
高 知	下田港・佐賀港・須 崎港・手結港	5月14日	カサゴ	17,700 尾
愛 媛	三津浜港	5月23日	カサゴ	10,000 尾
福 岡	門司港大里地区	10月20日	マダイ	6,000 尾
佐 賀	喜瀬川ダム	10月14日	ヤマメ	69.8kg
	伊万里市久原海岸	10月21日	カサゴ	5,700 尾
長 崎	佐世保市鹿子前	9月2日	カサゴ	4,200 尾

マナー看板設置事業

1府7県に47枚設置

2018年も各地でマナーの向上を呼び掛ける看板の設置を行いました。

	県名	場所	設置月	設置枚数
1	埼玉県	水城公園	2018年8月	4
2	兵庫県	明石市大蔵海岸・中崎展望広場	2018年6月	8
3	沖縄県	波の上みそら公園	2018年7月	12
4	千葉県	浜行川漁港	2018年7月	2
5	和歌山県	田辺市周辺漁港	2018年8月	10
6	愛知県	豊浜釣り桟橋	2019年3月	2
7	大阪府	大阪港	2019年3月	5
8	大阪府	かもめ大橋	2019年3月	3
9	福岡県	若松響灘釣り遊歩道	2019年3月	1
		合計		47枚



埼玉県水城公園



沖縄県波の上みそら公園



兵庫県明石市





千葉県浜行川漁港



和歌山県田辺市周辺漁港



大阪港かもめ大橋



愛知県豊浜釣り桟橋



大阪港



福岡県若松響灘釣り遊歩道

産卵床・魚道設置

海水温の上昇やアイゴの食害等いろいろな原因でアオリイカが産卵する海藻が減っています。アオリイカ釣りは人気のある釣りですので、少しでもアオリイカを増やすために平成25年からボランティアダイバーの協力を得て、アオリイカの産卵床の設置を行っています。

コイはコイヘルペスのため放流ができない状態が続いています。そこで自然産卵を促してコイを増やすため平成29年よりコイの産卵床の設置を始めました。

魚道については日大の安田教授の協力を得て、アユが遡上しやすくなる簡易魚道の設置を始めました。わずかな段差でもアユが遡上できないところに簡易魚道を設置することで、多数のアユの遡上が確認されています。

コイの 産卵床設置



多摩川

ウグイの 産卵床設置



多摩川

アユの 産卵床設置



多摩川

アユの 流下仔魚調査



淀川大堰左岸魚道

アオリイカの 産卵床設置



静岡県八幡野漁港沖



三重県五カ所湾



和歌山串本町沖



山口県周防大島和田港



神奈川県岩港



静岡県田子湾



アユ魚道の整備



福岡県紫川



茨城県久慈川



岡山県高梁川



	県名	設置場所	実施日	対象
産卵床	和歌山県	串本沖	4月12日	アオリイカ
	山口県	周防大島和田港	4月28日・29日	アオリイカ
	神奈川県	真鶴町岩港	5月9日	アオリイカ
	静岡県	田子湾	6月3日	アオリイカ
		八幡野漁港沖	5月20日	アオリイカ
	三重県	五力所湾	4月12日	アオリイカ
	東京都・神奈川県	多摩川 宇奈根	4月3日	コイ
		第3京浜下流	4月3日	コイ
		稲田堤	4月8日	コイ
		中原新幹線下	4月10日	コイ
宮内		4月10日	コイ	
多摩川調布市上河原堰下		4月8日	ウグイ	
	多摩川世田谷区玉堤	10月28日	アユ	
産卵床を設置する場所の調査	京都府支部	大阪府淀川におけるアユの流下仔魚の調査	11月24日	アユ
魚道	福岡県	小倉区紫川	5月28日	アユ
	茨城県	久慈川辰口堰	7月2日	アユ
	岡山県	高梁川潮止堰	10月22日	アユ

合計 17ヶ所

未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア

(株)ア・ネットコトブキヤ
 (有)アイビーライン
 (株)アイビック
 アキレス(株)
 (有)アクティブ
 アサヒレジャー (株)
 アチック
 (株)アピア
 (株)アムズデザイン
 (有)アリゲーター技研
 (株)アンダラズ
 アンダラズサポートシステム(株)
 アンダラズデザイン(株)
 (有)アングル
 (株)イシグロ
 (有)イシナダ釣工業
 五十鈴工業(株)
 (株)issei
 ING.co.,
 INFINITE SEEDS MAKERS(株)
 ヴァンフック(株)
 (株)ウイン インコーポレーテッド, ジャパン
 (株)ウイング
 植田漁具(株)
 (株)ウォーターハウス
 (有)ウォーターランド
 (株)魚矢
 (株)宇崎日新
 ウチダトレード・モリックスジャパン
 (株)エイチ・エー・エル
 (株)エイテック
 (株)ESTATE
 (株)エバーグリーンインターナショナル
 エフ・ケイ
 (有)エムワントレーディング
 オウルジーンズ
 (有)オー・エス・ピー
 OSGS
 (株)オーナーぱり
 (株)オーパデザイン
 (株)オオモリ
 (有)オジーズ
 (株)小野由
 (有)オフィス・ユーカリ

(株)オフィスアクセル

(株)オリムピック

(株)オンスタックル

カ

(株)鶴祥
 景山産業(株)
 (株)カズマーク
 (株)カツイチ
 (有)加藤精工
 カハラジャパン(株)
 (有)カビイ
 (株)がまかつ
 (有)カラーズインターナショナル
 (株)川せみ針
 (有)ガンクラフト
 (有)関門工業
 (株)キサカ
 (株)キザクラ
 (株)KILLER HEAT
 (株)クリーブラッツ
 (株)Grayhound
 クレハ合織(株)
 グローブライド(株)
 (株)ケイテック
 (株)ゲインコーポレーション
 (株)ケーター関東
 ゲーリーインターナショナル(株)
 (株)KIOB
 ケンインターナショナル(株)
 (株)剛樹
 興和(株)
 (株)ゴーセン
 (一社)KONI
 (株)コヒナタ

キ

(株)34
 (有)財津釣具
 (有)サウスウインド
 栄通商(株)
 櫻井釣漁具(株)
 (株)ささめ針
 (株)ザップ
 (有)サニー商事
 サポートエンジニアリング フラー
 サンヨーナイロン(株)

(株)サンライン

(株)ジークラック

(株)シーフロアコントロール

(株)シマノ

(株)清水

(株)下田漁具

(株)ジャクソン

(株)ジャッカル

NPO 法人 ジャパンゲームフィッシュ協会

(株)ジャンプライズ

(株)上州屋

(株)スーパー・ビー

skillful

(株)スズミエンタープライズ

スタジオディーピーアイ(株)

スタンキーパー (株)

スティールハント

(株)スナガ

(株)スポーツライフプラネット

(株)スミス

征興産業(株)

(株)清光商店

(株)ゼニス

(株)ゼファーボート

(株)双進

タ

第一精工(株)
 大同(株)
 大同石油(株)
 ダイトウブク(株)
 太陽産業(株)
 (株)ダイレイ
 タカ産業(株)
 高階救命器具(株)
 (株)タカタ
 (株)タカミヤ
 (株)タックルハウス
 (株)達人
 谷山商事(株)
 タブリエ・コミュニケーションズ(株)
 (株)タミキジャパン
 (株)ダン
 痴虫
 中央漁具(株)
 (株)津田商会

ために 今 私たちは行動します

257社・団体参加(2019年3月31日現在 50音順)

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|
| (株)ツネミ | ピュア・フィッシング・ジャパン(株) | (株)もりげん |
| つりー(株) | 兵庫通商(株) | moriken speed bite |
| (株)釣研 | (有)ヒロカコーポレーション | ヤ |
| (株)釣りビジョン | 琵琶湖遊漁船業協会 | (株)ヤマイ |
| (株)つり人社 | FIELD BACK | 山田電器工業(株) |
| (株)DRT | フィッシュ・アンド・ハート(株) | 山豊テグス(株) |
| T.H. タックル | Fishman(株)アレア | 山本光学(株) |
| D-CLAW | プエブロ(株) | (株)ヤマリア |
| (株)DSTYLE | (株)フォレスト | (株)ヤリエ |
| (株)ディーパース・ファクトリー | FOLLOW | ユニチカ(株) |
| TICA JAPAN (株) | 富士工業(株) | (有)よつあみ |
| (株)ティムコ | 富士灯器(株) | ラ |
| (株)テクノス | (株)フジノライン | (株)ラインシステム |
| (株)デプス | (株)フジワラ | (有)ラガチャイナ |
| (株)デュオ | (株)藤原辰次商店 | 落花生 |
| (株)天龍 | (株)ブリーデン | (株)ラッキークラフト |
| (株)トアルソン | ブルーブルー(株) | Rattytwister |
| (株)トゥームストーン | フルシロプロダクトデザイン | ラパラ・ジャパン(株) |
| 東邦産業(株) | (株)ブレイズアイ | REALS |
| 東レ・モノフィラメント(株) | プロズワン | (株)リガーレ |
| (有)トオヤ | (株)プロックス | (株)リコーサーバンス |
| (株)土肥富 | ベイトブレス | (株)リチャーズ |
| (株)TRYALL | BeveL | リップラップ |
| DRANCKRAZY(株) | (株)ベルモント | リトルジャック(株) |
| DreemUP | (株)北摂マリン | (有)リトルプレゼンツ |
| チ | Bottomup(株) | (株)リプレイ |
| (株)内外出版社 | BOREAS | リミット |
| (株)ナカジマ | (株)ボンバダアグア | lure angle HAMA |
| ニッコー化成(株) | マ | ルアーショップ アンドウ |
| (株)NOIKE | (株)マガジン・マガジン | + Rooms' |
| ハ | マルキュー(株) | (株)ルミカ |
| (株)パームス | 丸米商事(株) | RAID JAPAN(株) |
| (株)ハイテックボート | (株)マルシン漁具 | (株)レイン |
| ハイドアップ(有) | MARUTE | LEGAME |
| バスディ(株) | (株)まるふじ | レジットデザイン(株) |
| (株)バスディジャパン | mibro | LESS is MORE |
| (株)林釣漁具製作所 | (株)ミヤマエ | (有)ロデオクラフト |
| (株)ハヤブサ | (株)ムカイフィッシング | ワ |
| はり秀(株) | (株)名光通信社 | (株)ワールドスポーツ |
| (株)ハリミツ | 明邦化学工業(株) | WILDFINS |
| (有)HMKL | (有)メガテック | (株)脇漁具製作所 |
| HAND MADE LURE HIRO | メガバス(株) | (株)和田製作所 |
| (株)ビーエムオー・ジャパン | メジャークラフト(株) | (株)ワトスワクトリー |
| ビジュアライズイメージ(株) | (株)目探 | |
| ヒットコンポジット(株) | (株)モーリス | |

2018年度LOVE BLUE事業収支報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
【収入の部】		
(1) シール売上収入		
環境・美化シール販売収入	3,300,000	5,050,206
商標使用料収入	222,600,000	228,631,130
シール売上収入等計	225,900,000	233,681,336
(2) 環境保全協力金収入（会計間振替）	18,000,000	19,053,334
釣竿を除く商品× 2/10000	14,000,000	14,860,179
釣竿× 2/10000	4,000,000	4,193,155
(3) 環境協力金収入	500,000	0
環境保全協力金収入等計	18,500,000	19,053,334
収入合計	244,400,000	252,734,670
【支出の部】		
I 事業活動費支出		
(1) 水中清掃事業費支出		
清掃業務費用支出（プロダイバー）	80,000,000	76,343,120
業務委託費支出（日釣振）	7,000,000	6,802,806
水中清掃事業費支出計	87,000,000	83,145,926
(2) 陸上清掃事業費支出		
陸上清掃費用支出	15,000,000	15,000,000
陸上清掃事業費支出計	15,000,000	15,000,000
(3) 放流事業費		
放流事業費支出	40,000,000	27,770,678
業務委託費支出（日釣振）	20,000,000	21,269,224
放流事業費支出計	60,000,000	49,039,902
(4) 釣り場拡大事業費支出		
釣り場拡大事業費支出（日釣工）	25,000,000	11,701,179
釣り場拡大事業費支出（日釣振）	13,000,000	2,744,040
釣り場拡大事業費支出計	38,000,000	14,445,219
(5) 予備費支出		
予備費支出計	10,000,000	0
事業費支出計	210,000,000	161,631,047
事業費比率	85.9%	64.0%

(6) 運営経費支出		
LOVE BLUE 人件費支出	18,473,277	20,158,862
環境・美化シール印刷費支出	350,000	345,600
旅費交通費支出	7,000,000	2,644,740
通信運搬費支出	1,200,000	658,262
資料作成費支出	2,500,000	2,406,391
宣伝費支出	15,000,000	5,290,360
租税公課支出	3,000,000	8,453,080
会議費支出	400,000	102,400
支払手数料支出	100,000	33,264
振込手数料支出	50,000	108,216
諸謝金支出	200,000	0
消耗品費支出	300,000	42,260
雑支出	100,000	607,855
運営経費支出計	48,673,277	40,851,290
事業活動費支出合計	258,673,277	202,482,337
事業費比率	105.8%	80.1%
事業活動収支差額	△ 14,273,277	50,252,333
II 振替経費支出		
振替人件費支出	2,608,034	1,410,466
その他一般管理費支出	2,198,236	2,314,089
租税公課支出	0	0
支払利息支出	0	0
F 会館維持管理費支出	190,000	106,483
修繕費支出	0	0
法人税等	0	0
振替経費支出計	4,996,270	3,831,038
【投資活動収支の部】		
(1) 投資活動収入		
投資活動支出計	0	0
(2) 投資活動支出		
特定預金取得 支出	475,036	594,778
退職給付引当預金取得支出	475,036	594,778
固定資産取得 支出	200,000	0
商標権取得 支出	200,000	0
投資活動支出計	675,036	594,778
投資活動収支差額	△ 675,036	△ 594,778
当期収支差額	△ 19,944,583	45,826,517
LOVE BLUE 事業前期繰越収支差額	83,724,821	83,724,821
次期繰越収支差額	63,780,238	129,551,338

SDGs(持続可能な開発目標)と LOVE BLUE 事業

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、今後の世界のビジョンを示し、経済活動を大きく変えていく「道しるべ」となっています。

SDGsは国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

日本では、「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」(本部長：内閣総理大臣)が2016年5月に設置されました。同年12月には、「SDGs実施指針」が策定され、国が民間企業も含めたあらゆるステークホルダーの取組を後押しすることが示されています。

産業界でもSDGsを受け止めた動きが始まっています。日本経済団体連合会では、2017年11月に、会員企業に向けた行動指針「企業行動憲章」にSDGsの理念を取り入れた改定を行いました。改定の主なポイントは、SDGsに示されている社会的課題の解決に企業も積極的に取り組むことを促していることであり、会員企業が自社だけでなく多様な組織との協働を通じて、持続可能社会の実現に向けて行動することを推奨しています。

SDGsの目標14は、「海の豊かさを守ろう」です。具体的には「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」とされています。とりわけ海洋プラスチックごみの問題などは喫緊の課題です。

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業が進めてきた取り組みは、2018年度もこれまでの実績を基に、政府主催行事への参加や全国豊かな海づくり大会への参画など、積極的な活動を展開してきました。今後はSDGsへの貢献の意義も含めてますますその役割の重要性が増していくと思われまます。これからの活動に一層の期待を寄せています。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>



編集協力：公益財団法人日本釣振興会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館3階
TEL：03-3555-3232 FAX：03-5542-2941

編集・発行：一般社団法人日本釣用品工業会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5階
TEL：03-3555-0101 FAX：03-5542-2929 E-mail：info-fev@jafmta.or.jp

